

志太榛原の多彩な農林産物

茶

県を代表する茶業地帯で、大規模で効率的な生産や環境を生かした茶生産が行われています。煎茶や被覆茶のほか、近年では発酵茶など新しい茶の生産も盛んです。



牧之原台地の茶園

米

大井川の豊かな水を活かしておいしい米づくりが行われています。また、酒米の生産が増えており、県育成品種「令和誉富士」の生産は県全体の7割を占めます。



大区画水田における田植え

野菜

路地では、県下一の生産量を誇るレタスが秋冬期の水田の裏作で生産され、施設では高精度トマトやイチゴなどが生産されています。



レタス

イチゴ



果樹

傾斜地を中心に温州みかんが生産され、近年では高品質化のためのマルチ栽培が拡大しています。平野部では、梨の生産も盛んです。



みかんのマルチ栽培

花き

バラ、ガーベラなどの切花や洋ラン鉢物が生産されています。多収、省力化生産を図るため、複合環境制御装置の導入が進んでいます。



ガーベラのハウス栽培

畜産

黒毛和種が肥育され「静岡育ち」ブランドでまた交雑肉牛は「葵」ブランドで販売されています。豚では県内スーパーと連携した販売が増えています。



肉用牛「葵」の肥育

しいたけ

しいたけの生産量は、県内の17%を占めています。主に菌床栽培で生しいたけが、原木栽培で乾しいたけが生産されています。



しいたけの菌床栽培

木材

大井川中流域の森林は成熟し、スギ、ヒノキなどの木材生産が盛んです。管内で生産される木材は、県全体の11%を占めています。



静岡県森林組合連合の木材共販場

世界農業遺産[茶草場農法]

「茶草場農法」は茶園周辺のススキなどを秋冬期に刈り、きざんで茶園に敷く伝統的な農法であり、平成25年5月に世界農業遺産に認定されました。この農法は高品質生産に活用されるとともに、茶草場に息づく生物の多様性の維持にも役立っています。



奥：茶草場
手前：草を敷く茶園

ユネスコエコパーク[南アルプス]

川根本町北端の長野県との県境は、「高い山、深い谷が育む生物と文化の多様性」という理念のもと、平成26年6月にユネスコエコパークに登録承認されました。



自然環境保全地域
(川根本町提供)